

ミグリトール錠 25mg 「JG」

ミグリトール錠 50mg 「JG」

ミグリトール錠 75mg 「JG」

**【この薬は？】**

販売名	ミグリトール錠 25mg 「JG」 Miglitol Tablets 25mg “JG”	ミグリトール錠 50mg 「JG」 Miglitol Tablets 50mg “JG”	ミグリトール錠 75mg 「JG」 Miglitol Tablets 75mg “JG”
一般名	ミグリトール Miglitol		
含有量 (1錠中)	25mg	50mg	75mg

**患者向医薬品ガイドについて**

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。さらに詳しい情報として、PMDAホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>に添付文書情報が掲載されています。

**【この薬の効果は？】**

- この薬は、糖尿病食後過血糖改善剤で、 $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- この薬は、腸管でのブドウ糖の吸収を遅らせ、食後の血糖値が急激に上昇するのを抑えます。

- ・ 次の目的で処方されます。  
**糖尿病の食後過血糖の改善**  
 (ただし、食事療法・運動療法を行っている患者で十分な効果が得られない場合、又は食事療法・運動療法に加えてスルホニルウレア剤、ビグアナイド系薬剤若しくはインスリン製剤を使用している患者で十分な効果が得られない場合に限る)
- ・ この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

## 【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・ 重いケトアシトシス状態（深く大きい呼吸、意識がなくなる、手足のふるえ）の人、糖尿病性の昏睡状態の人、糖尿病性の昏睡状態になりそうな人
- ・ 重い感染症にかかっている人、最近手術をした人または手術の予定がある人、大きな怪我をしている人
- ・ 過去にミグリトール錠に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
- ・ 妊婦または妊娠している可能性のある人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・ 過去に腹部を手術したり、腸閉塞になったことがある人
- ・ 消化・吸収障害を伴った慢性腸疾患の人
- ・ ロエムヘルド症候群の人、重いヘルニア、大腸の狭窄（きょうさく）・潰瘍（かいよう）などがある人
- ・ 肝臓に重篤な障害がある人
- ・ 腎臓に重篤な障害がある人
- ・ 妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・ 授乳中の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

## 【この薬の使い方は？】

### ●飲む量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名	ミグリトール錠 25mg「JG」	ミグリトール錠 50mg「JG」	ミグリトール錠 75mg「JG」
1回量	2錠 ※	1錠 ※	※
飲む回数	1日3回毎食直前		

※1回50mgを服用しても効果不十分な場合には、1回75mgまで増量されることがあります。

### ●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

### ●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。食事の直前に飲み忘れたときは、食事中に1回分を飲んでください。食後かなりの時間がたっている場合は、1回とばして次の時間に1回分を飲んでください。

### ●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

## 【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・ この薬の使用中は、定期的に血糖の検査が行われます。この薬を2～3カ月使用しても十分な効果が得られない場合は、より適切な治療へ変更されることがあります。
- ・ 副作用として低血糖症状（お腹がすく、冷汗が出る、血の気が引く、疲れやすいなど）があります。このような症状があらわれた場合は、ブドウ糖を飲んでください。この薬を使用するにあたっては、患者さんは、これらのことを十分に理解できるまで説明を受けてください。
- ・ この薬の使用中に腹部膨満（おなかがはる）、鼓腸（ガスがたまって腹がはる）、下痢などがおこることがあります。これらは時間が経つと消失することが多いのですが、ひどい場合は医師に相談してください。
- ・ 自動車の運転中や高所作業中などに低血糖をおこすと事故につながりますので、特に注意してください。
- ・ 妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使用することはできません。
- ・ 授乳している人は医師に相談してください。
- ・ 他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

## 副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

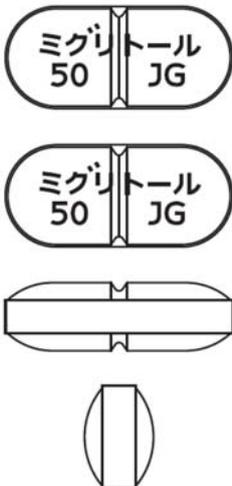
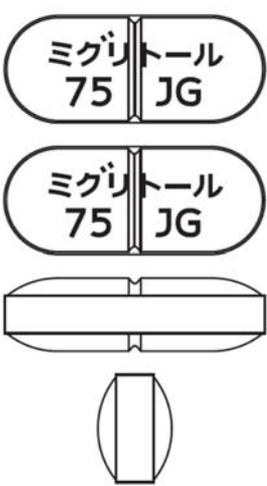
重大な副作用	主な自覚症状
低血糖 ていけつとう	お腹がすく、冷汗が出る、血の気が引く、疲れやすい、手足のふるえ、けいれん、意識の低下
腸閉塞 ちょうへいそく	便やおならが出にくい、吐き気、嘔吐（おうと）、お腹が張る、腹痛
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、疲れやすい、けいれん、体がだるい、力が入らない、体がかゆくなる
頭部	意識の低下
顔面	血の気が引く
眼	白目が黄色くなる
口や喉	吐き気、嘔吐（おうと）
腹部	お腹がすく、お腹が張る、腹痛、食欲不振
手・足	手足のふるえ
皮膚	皮膚が黄色くなる
便	便やおならが出にくい
尿	尿の色が濃くなる

### 【この薬の形は？】

販売名	ミグリトール錠 25mg「JG」	ミグリトール錠 50mg「JG」	ミグリトール錠 75mg「JG」
PTPシート	 <p>表面</p>	 <p>表面</p>	 <p>表面</p>
	 <p>裏面</p>	 <p>裏面</p>	 <p>裏面</p>

販売名	ミグリトール錠 25mg「JG」	ミグリトール錠 50mg「JG」	ミグリトール錠 75mg「JG」
形状	楕円形（割線入り） 	楕円形（割線入り） 	楕円形（割線入り） 
径 (mm)	長径：8.3 短径：4.1	長径：10.0 短径：4.6	長径：12.1 短径：5.1
厚さ (mm)	3.0	3.1	3.5
重さ (mg)	94	130	195
色	淡黄色	白色	白色
本体表示	ミグリトール 25 JG	ミグリトール 50 JG	ミグリトール 75 JG

### 【この薬に含まれているのは？】

販売名	ミグリトール錠 25mg「JG」	ミグリトール錠 50mg「JG」	ミグリトール錠 75mg「JG」
有効成分	日本薬局方 ミグリトール		
添加物	結晶セルロース、トウモロコシデンプン、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、マクロゴール6000、タルク、酸化チタン、黄色三ニ酸化鉄、カルナウバロウ	結晶セルロース、トウモロコシデンプン、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、マクロゴール6000、タルク、酸化チタン、カルナウバロウ	

### 【その他】

#### ●この薬の保管方法は？

- ・ 直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・ 子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・ 絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・ 余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・ 症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・ 一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：日本ジェネリック株式会社

(<https://www.nihon-generic.co.jp>)

お客さま相談室：0120-893-170

受付時間：9時～17時30分（土、日、祝日を除く）